

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 ごみ減量と資源化を推進するために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

2019年4月から家庭ごみ有料化・戸別収集が始まり、一旦は収集量は減少したもののコロナ禍において収集量が増加しました。また、容器包装プラスチックを資源として活用するために分別収集していますが、6月にプラスチック資源循環促進法が成立し、今後各自治体での対応が求められるなど、小平市のごみや資源に関する事業を取り巻く環境は変化し続けています。

小平市一般廃棄物処理基本計画改訂版に廃棄物減量の意義として、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会を改め、環境への負荷を低減し、安全、安心に暮らしていくことができる持続可能な循環型社会に変革する必要があると記載されています。環境の変化に対応しながらも小平市のごみの減量と資源化を推進するために以下質問します。

- 1, コロナ禍の家庭ごみ、資源の量や分別の状況、収集時の課題についてお示ください。
- 2, 小売店等の資源の店頭回収の進捗状況について伺います。
 - ① 昨年開始したコンビニエンスストアでの機械を使ったペットボトル店頭回収の進捗状況についてお示ください。
 - ② 学校の制服等、衣類を店頭回収している例がありますか。
 - ③ 店頭回収を行う店舗や回収品目を増やすことを依頼するなど、検討、予定していることがありますか。
- 3, プラスチックの削減について伺います。
 - ① 東京都が示すプラスチック削減プログラムをどのように市の施策に反映させますか。
 - ② 容器包装プラスチックの発生抑制のためにどのような取り組みを行っていますか。
 - ③ プラスチック削減のためには拡大生産者責任を求めていかなくはなりません。市としてできることをお示ください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和3年8月30日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

| | | | |
|----|----|----|----|
| 26 | 25 | 24 | 23 |
| | | | |

-(/)